

◆学長スペシャル対談

関西大学 外国語学部 外国語教育学研究科 教授

田尻悟郎さん

◆活躍する島大生

第6回アジアロープスキッピング選手権大会
15歳以上男子の部フリースタイル競技 優勝

三村大輔さん

◆東日本大震災の復興支援に取り組む学生たち

「つながる絆プロジェクト」活動紹介

島根大学の研究・地域貢献事業紹介
島根大学最新ニュースTOPICS



TOPICS



1

医学部附属病院ワークライフバランス支援室が 医師用マタニティ白衣を開発しました！

医学部附属病院ワークライフバランス支援室で、「妊娠中の女性医師が快適に着ることができる白衣が欲しい」という職員からの要望をきっかけに調査したところ、看護師のマタニティ用ユニフォームは市販されていますが、医師用コートタイプのマタニティ用白衣がないことが判明しました。そこで、地元の白衣メーカーとともに医師用マタニティ白衣の共同研究・開発を行い、このほど研究用の白衣を完成させました(平成23年5月30日特許出願済)。今後はこの白衣を使用して学内でモニター調査を行い、さらに改良して実用化を目指します。



2

寧夏大学外国語学院日本語学科学生訪問団 による柴田副学長表敬訪問

8月19日、本学の協定校である中国・寧夏大学の外国語学院日本語学科学生訪問団(引率2名、学生8名)が島根大学を訪問し、柴田副学長を表敬訪問しました。訪問団は安来市の日中友好しまねの招へい事業により、8月18日から25日の1週間島根県に滞在。この日島根大学を訪れ、表敬訪問、学生交流会、キャンプツアーに参加しました。表敬訪問は、柴田副学長からの歓迎の挨拶後、学生一人ひとりが日本語で自己紹介を行い、柴田副学長からの質問にも流暢な日本語で答え、大変和やかな雰囲気で行われました。



〈表紙〉

8月中旬に行われた田尻悟郎さんの対談時の一コマ。田尻さんの貴重な体験や、教育への熱い思いなどのお話に触れる機会となりました。

02

広報しまだい
Shimadai
2011.10/Vol.10/CONTENTS

| | |
|---------------------|----|
| トピックス | 02 |
| 学長スペシャル対談 | |
| 関西大学 外国語学部 | |
| 外国語教育学研究科 教授 田尻悟郎さん | 06 |
| 研究・事業紹介 | 08 |
| 学生の活動紹介 | 18 |
| サークル紹介 | 20 |
| 活躍する島大生 | 22 |
| 島根スサノオマジック紹介 | |
| 島根大学支援基金寄附者一覧・プレゼント | 23 |

SIMANE
SHIMANE
UNIVERSITY

3 オープンキャンパスを開催しました!

松江キャンパスの法文学部・教育学部・総合理工学部・生物資源科学部を志望する高校生・受験生を対象としたオープンキャンパスを、8月10日、11日に開催しました。当日は、各学部学科での模擬授業、研究室訪問や施設見学などが行われました。法文学部では在校生体験談が聞ける交流コーナー、教育学部では特徴のあるカリキュラム

「1000時間体験」の報告会、総合理工学部では学科ごとの実験、生物資源科学部では学外にある本庄総合農場での実習体験など、島根大学ならではの企画を実施。参加した高校生は大学の雰囲気や学び方を体感していました。また島根大学の学生が企画・実行した学生企画では、島根県伝統の石見神楽の上演やサークル発表など、活気ある島大が感じられるステージとともに、キャンパスツアーなどに、キャンパスの医学部では8月7日にオープンキャンパスが開催され、学部説明や先輩との交流、附属病院などをめぐる施設見学が行われ、将来ここで実習する姿を思い描いた来場者も多かったようです。松江キャンパスでは約1750名、出雲キャンパスでは約370名を超える受験生・高校生や保護者の方々が来場されました。



4 「イチ押しビジネス交流会」について シーズ紹介しました



8月23日、キャンパス・イノベーションセンター東京(港区芝浦)にて、「中国地域国立大学法人5大学イチ押しビジネス交流会」鳥取・島根・岡山・広島・山口の特色ある研究シーズ紹介」が開催され、各大学が「イチ押し」する研究シーズを紹介しました。本学からは、医学部附属病院の花田英輔准教授が「遠隔医療支援で大活躍! 多目的遠隔通信システム」『ミュー太』と題して発表を行い、既に実用化され益田市や隠岐など遠隔での皮膚科診療を支援する本システムについて説明をしました。

5 松江出身の『史記』研究者 瀧川亀太郎関連史跡を巡見



法文学部専門科目「歴史学史料演習C」受講生による、瀧川亀太郎関連史跡の巡見を行いました。瀧川亀太郎は松江出身で、司馬遷の編纂による中国で書かれた最初の中国通史『史記』の研究者として知られています。同氏の注釈書『史記会注考証』は本家中国でも非常に評価が高く、この演習でもテキストとして用い、読解力を養成してきました。当日は、松江市奥谷町の桐岳寺内の墓所に参り、次いで、もと瀧川邸であった塩見縄手の武家屋敷などを見学しました。

6 調湿用木炭「炭八」の エアコン使用電力削減効果を記者発表



出雲土建株式会社と総合理工学部の中井准教授は、共同で研究・開発を続けてきた調湿用木炭「炭八」を、住宅の天井裏や床下に敷設することで、エアコンの使用電力を削減できることを明らかにし、その成果を7月29日に、島根県庁において記者発表しました。今回の実証実験では、出雲市内に建設したマンションを利用し、床下と天井に炭八を敷設した部屋と、全く敷設しない部屋を設けてエアコンを連続運転させ、その消費電力を測定。その結果、木炭を敷いた部屋の方が消費電力は一日平均24%少ないことが明らかとなりました。

7 「指導教員と保護者との個別面談」を 実施しました



法文学部と総合理工学部は、7月16日に松江市内で両学部の後援会の総会に併せ「指導教員と保護者との個別面談」を実施しました。個別面談では、全国から両学部合せて677家族、約970名が参加し、学業成績、学生生活、就職、進学などについて、143名の教員との間で情報交換が行われました。この催しは、両学部の前身である文理学部の時代から40年にわたり両学部後援会の協力・支援を得て実施。中には学生を含めた3者面談もおこなわれ、国立大学では非常に珍しい企画として、参加者からは好評を得ています。

8 附属図書館に收藏される 貴重資料「堀尾期松江城下町絵図」

3月に開館した「松江歴史館」にも複製が展示されている古地図「堀尾期松江城下町絵図」。1620年から1633年の間に描かれ、松江開府当初の松江城下町の様子を知らることが出来るこの古地図の原本は、島根大学附属図書館にあります。郷土島根にとって貴重な資料であることから、附属図書館がこの図を收藏したのは1980年。現在は貴重資料室に收藏されています。「堀尾期松江城下町絵図」には、松江城ならびにそれを取り巻く堀川、武家屋敷、町人町、寺社、田、沢、山などが描かれ、武家屋敷には氏名が、寺社には寺社名が記

されています。これらをつぶさに見ていくと、堀尾氏が作った城下町松江は、実戦を想定しつつ軍事面になり力点を置いた合理的・計画的な城下町であり、まさに関ヶ原合戦と大坂の陣にはさまれた時期に建設された城下町にふさわしい都市であることが分かります。現在原本以外に大学内に3点の複写があり、旧奥谷宿舍と汽水域研究センター、図書館で見られるほか、デジタルアーカイブでも公開されており、パソコン等でも閲覧が可能です。

【図書館蔵書リユース市を開催】

附属図書館で重複等のため不要

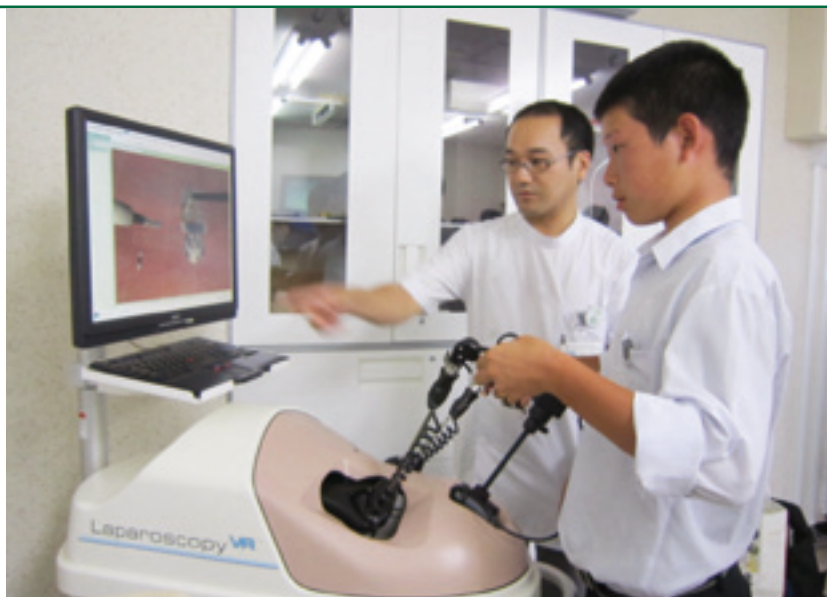
となった蔵書を有効利用していただくために、「第7回島根大学図書館蔵書リユース市」が11月9日から11月11日の3日間開催され、約6,000千冊の学術図書が100円、500円で販売されます。ぜひ足を運びてください。



9 医学部附属病院で 「高校生手術部体験学習」を実施しました

医学部附属病院で8月9日、島根県内の高校生を対象に手術部体験学習を実施しました。この体験学習は、手術の現場を高校生が実際に体験することにより医療への関心を高め、将来医師、看護師や薬剤師等の医療従事者を目指す人材を増やすことを目的として毎年実施しています。今回は県内9校から32名の

参加がありました。井川副院長の挨拶、佐倉手術部長から注意点等の説明が行われた後、グループに分かれて用意されたプログラムを体験し、医療実践に触れました。体験学習では、実際に行われた手術の見学（術衣着替え、手洗いを行い手術室に入室）、眼科「白内障手術」ウェットロボ（豚の眼球を用いた白内障手術の体験）、腹腔鏡手術のトレーニング体験（バーチャルリアリティー手術シミュレーターを用いた腹腔鏡手術の疑似体験）、臨床工学技士業務の見学（人工呼吸器などの機器の説明、シリンジポンプ操作体験）を行いました。体験学習終了後のアンケートでは「医師を目指したいという思いが強くなった。」「医学部進学に対してのモチベーションが上がった。」などの感想が数多く寄せられ、今回の企画の目的を達成できたことが確認できました。



術の体験）、腹腔鏡手術のトレーニング体験（バーチャルリアリティー手術シミュレーターを用いた腹腔鏡手術の疑似体験）、臨床工学技士業務の見学（人工呼吸器などの機器の説明、シリンジポンプ操作体験）を行いました。体験学習終了後のアンケートでは「医師を目指したいという思いが強くなった。」「医学部進学に対してのモチベーションが上がった。」などの感想が数多く寄せられ、今回の企画の目的を達成できたことが確認できました。

10 医学部中山講師が 日本産科婦人科学会 学術奨励賞受賞



医学部附属病院産科婦人科の中山健太郎講師が、6月25日に東京・都市センターで開かれた平成23年度日本産科婦人科学会定時総会において「学術奨励賞」を受賞し、表彰されました。この受賞は、米国シヨブズ・ホプキンス大学との共同研究で日本人の発生頻度が高い卵巣明細胞癌のがん抑制に働く特定遺伝子「ARID1A」を昨年10月に世界で初めて発見するなど一連の研究成果が評価されたものです。今回、中国四国地方の会員では初めての受賞となり、婦人科腫瘍部門で他の2名（周産期医学1名、婦人科腫瘍1名）と共に表彰されました。

11 サイエンスカフェ「原子力、放射能を考える」を開催しました



7月25日、ぐにびきメッセで第36回島根大学サイエンスカフェ「原子力、放射能を考える」を総合理工学部の阪本滋郎教授を講師に迎えて開催しました。テーマは福島原発事故を受けて関心が高まっている原子力と放射能について基礎的な知識を学んでもらおうと取り上げたもので、一般市民ら74名が原子力のしくみ、放射能の種類・単位と人体への影響、原子力利用の問題点について理解を深めました。質疑応答では、世界的に原発はやめた方がいいのか、原発のプラス面は何か、福島状況は今後どうなるのかなど質問が相次ぎました。

スペシャル 対談 Special Talk

関西大学外国語学部
外国語教育学研究科教授 田尻悟郎さん × 学長 山本廣基

島根大学とわたし

「田尻式英語学習法」とも呼ばれる独自のスタイルで教育関係者から大きな注目を集める、関西大学外国語学部外国語教育学研究科・田尻悟郎教授(島根大学教育学部卒業)をゲストに招いておこなった山本廣基学長スペシャル対談。学習法を生み出すきっかけなど、貴重なエピソードも飛び出す面白い対談になりました。



やまもと・ひろき
1947年生まれ。2009年4月より本学学長に就任。専門は農業環境科学、土壌微生物学。

山本 本日はお忙しい中、ありがとうございます。早速ですが、田尻先生は、独自の授業スタイルと教育方法で関係者から大きな注目をされておられますが、どういうきっかけで始められたんですか？

田尻 教師になって12年目に赴任した中学校での授業がきっかけ

けです。当時のその学校は、勉強への意欲が希薄で、これは普通に授業をやっても難しいだろうと思ひ、生徒に聞いてみたら「授業が面白くない」と言うんです。自分自身も教科書をうまく使えてない気がしていたので、それから教科書をすべて洗い直して、何を教えずにはいけないか、重要な部分はなにかをすべて書き出したんです。

確かめるうち、生徒たちがマスターしていなければ教えても意味がないことに気づいたわけです。それから、教えたことをちゃんとマスターしているのか確かめる授業に変わったんです。

山本 自分のためでもあったんですね。

田尻 そうです(笑)。そうして書き出したものを表にして、授業で

を出すという授業に変わったわけですね。

田尻 そうです。授業を受けた子の語彙が、通常の1・5倍にもなったと評価もされました。

山本 「学んだ知識」を組み立てて、自分で展開させて応用できることが改めて大切だと思ひます。

山本 それはすごい。

田尻 スポーツばかりに夢中に





田尻次の世代を育てる教育には、長期的な視点で「教える」ことを考えることが必要だと思えます。



たじり・ごろう
1958年生まれ。島根県松江市出身。島根大学教育学部卒業後、神戸、島根県で英語教師として英語教育に携わる。2001年、外国語教育の改善発展のために成果をあげた個人、団体に贈られるパーマー賞を受賞。2009年より現職。

なっていた生徒たちが、英語も面白いと純粋に楽しんでくれた。英語が将来必要になるというより、面白ければ夢中になるという感覚でした。今も、そのやり方に変わりはありません。

山本 いまは大学生を相手にしておられますが、違いはないのですか？

田尻 まったく変わりません。語学はスポーツと同じで、指導者がしゃべりすぎてはだめで、学習者が練習しなければ身につけません。大学生も課題をクリアすると、ガッツポーズや雄叫びが出てきます(笑)。

山本 教える田尻先生自身は何か変化がありましたか？

田尻 大いにあります(笑)。小学校から大学すべて指導できるようなったこと。そしてやはり、先生方のトレーニングが行えるようになった事も大きいですね。

山本 先生が関西大学に行かれた、外国語学部が誕生しましたが、どういう変化がありますか？

田尻 意欲のある学生が増えました。特に2回生は自費による1年間の海外留学が必須なので、みんな相当の決意をもって入学してきています。

山本 矢継ぎ早に質問ばかりしてききましたが、最後にこれからの目標をお聞かせください。

田尻 入試に焦点を絞りました。今の教育から「次の世代を育てる」という教育の根本を見直す働きかけをおこなっていききたいです。

山本 本日はどうもありがとうございます。ありがとうございました。

〔撮影協力〕フランス料理ムーランドール

研究 事業 紹介

introduction

法文学部

研究・事業紹介

08

近現代日本の歴史的特徴を政策・行政と 民衆の活動から立体的に捉える研究

「地方長官会議の歴史的研究」などの「自身の研究テーマと並行して、松江市の初代市長・福岡世徳（ふくおかつきのり）の研究という地域テーマにも着手しておられる、法文学部の竹永三男教授に、各研究のお話をうかがいました。

地域の視点からの近現代史をテーマに
日本社会の歴史的特徴を見出す研究を

日本近現代史を専門としている竹永三男教授の研究テーマは、「地方長官会議の歴史的研究」と「行き倒れ（行旅病人・行旅死亡人）の歴史的研究」です。地方長官会議とは、内務大臣が召集する官選知事（北海道庁長官と府県知事）の全国会議で、明治期から戦後の地方自治法施行直前まで、毎年開催されていました。

「これまで研究がなかった対象ですが、この会議では、国政全般の問題が議題になることから、近

「近現代の日本社会の歴史的特徴を、地域の視点から、全国的視野で検討することを研究の課題としています」と語る竹永教授。研究者としての地域貢献について、幅広く語りました。

法文学部教授

竹永三男



初代松江市長・福岡世徳の自筆手帳・日記と肖像(松江城北堀町・福岡家所蔵)



「地域の記録者」田中梅治が残した自筆の自伝・民俗研究と肖像
(邑南町増淵・田中勘助氏所蔵)



現代の日本を通時的・具体的に分析できます(竹永教授)。

また、「行き倒れの歴史的研究」では、全国の都道府県・市町村の行政文書を調査し、病気等の理由で旅先で倒れた人の救護記録を収集分析しています。

「行き倒れ」という極限状態に立ち至った人々の在りようとその背景、救護法制とその運用の分析を通して、近現代日本社会の歴史的特徴を捉えることを目指しています(竹永教授)。

初代松江市長・福岡世徳の研究とそれに繋がる松江市史への取り組み

さらに、地域と密接した研究テーマが、初代松江市長・福岡世徳の研究です。この研究は、島根



「地方長官会議の歴史的研究」の史料。全国の地方新聞と都道府県庁文書から、この会議の実態を究明しています(左2冊の県庁文書は島根県公文書センター、右は鳥取県立公文書館所蔵)

大学赴任時(昭和56年)から手がけていましたが、市長が在任中携帯していた直筆の手帳を史料として、法文学部山陰研究センターのプロジェクト研究で取り組んでいます。この他、民俗学者・宮本常一が著書『忘れられた日本人』で「文字をもつ伝承者」として紹介した田中梅治(邑南町増淵)の研究にも取り組んでいます。

「松江市制施行の明治22年5

月から明治44年7月まで市長を務めた福岡世徳は、鉄道の敷設、馬潟港の整備、陸軍の連隊誘致などを中心に、松江の都市基盤づくりに尽力しました。市長としての活動を詳細に記述した直筆の手帳等の分析で、成立期の松江市制の実態が明らかになっており、この成果を編纂中の松江市史(合計18巻で平成30年度までに随時出版予定)にも活かします(竹永教授)。

研究 業紹 介

introduction

教育学部

研究・事業紹介

10

大地の芸術祭への参加からはじまった 共同作業としての芸術を学生に伝える

彫刻(木彫)を通じて、学生たちに自在に空間を使って表現する面白さを伝えている、教育学部の藤田英樹准教授(彫刻家)。近年ではワークショップへの参加で学生たちに新しいアートとの関わり合いを提供してられます。

空間に展開していく彫刻の面白さ
発想を広げていく芸術祭への参加

「彫刻には平面にはない、空間にどんどん展開していくという面白さがあります」と語るのが、教育学部で芸術表現教育講座を担当している、彫刻家の藤田英樹准教授。

同郷の彫刻家、辻晋堂の木彫作品との出会いから、彫刻家になったという藤田准教授は、自身が経験してきた彫刻の面白さを学生たちに伝えるべく、さまざまな芸術活動を展開されています。

その大きなきっかけになった

取材日は、本年8月29日から9月3日まで東京銀座の「なびす画廊」で開催した自身3回目の個展「雲の庭」の準備の追い込み中。「今後も人物群像に取り組んでいく」とのこと。



教育学部准教授
藤田英樹



今年8月に、島根県立美術館で開催したワークショップ「手作りのりで型絵染 かんたん!芹沢ランチョン」の様子。すぐに参加申し込み定員に達するほど、大好評のワークショップとなりました。



のが、信州大学に在籍中の平成12年におこなわれた「大地の芸術祭 越後妻有(えちごつつまり)アートトリエンナーレ」でした。

新潟県越後妻有の広大なエリアをそのまま利用した、国際展として知られるトリエンナーレ。この展覧会に参加した藤田准教授は、学生たちとともに、地元の子どものためのメッセージをモチーフにしたアートを制作。「それまで、自己表現だと思っていたアートが、周りを巻き込むことで面白くなることに気づかせてもらった。教育的意義としても、一緒に何かを作るという行為が一人の表現では気がつかない多くのことを気づか



昨年、米子市で開催したワークショップ「子ども彫刻フェア」の様。島根県産の来待石を組み合わせて「虫」をつくるという取り組みを行いました。

育の一環としておこなうものとは違って、自由度が高く、美術館などの特別な空間が使えるので、学生たちに新しい美術体験を提供することができま

す(藤田准教授)。
 せてくれるということを実感した(藤田准教授)。
**さまざまの人々と関わっていく
 新しい芸術体験・ワークショップ**
 この延長として、学生とのワークショップへの参加があります。

「特に学外でのワークショップに力を入れています。学校教

でおこなわれたワークショップでは、染色工芸家・芹沢銈介にちなんだ型絵染体験を催し、その準備で詳細な資料を求めて学生たちが取材に行ったりと、さまざまな活動を通じてアートに取り組みました。

今後もうこうした形式のワークショップを積極的にこなっていくそうです。

研究 事業紹介

3

introduction

総合理工学部

研究・事業紹介

12

日本近代都市計画の具体的な検証 震災復興に向けた調査もスタート

日本近代都市計画に端を発する高度成長期の工業産業分野の都市開発を自身のテーマとして取り組んでおられる
総合理工学部の中野茂夫准教授。東日本大震災復興に向けた取り組みから地域を対象とした課題などお聞きしました。

法定都市計画への疑問から
工業・産業分野のまちづくりを研究

専門の近代都市計画学の分野
で繰り返し言われてきた日本近
代都市計画への批判が、自身の
テーマに取り組みきっかけに
なったという、中野茂夫准教授。

「都市を総体的にコントロー
ルするという視点に基づいて作
られた近代都市計画ですが、規
制や土地利用、または道路等、
機能的にも不十分だと批判され
てきた歴史があります。しかし、
工業立国として成長した日本に
おいては、工業開発や産業開発
の分野では一定の成果を上げて



復興計画史アーカイブ
中野准教授らが手がけている「復興計画史アーカイブ」のトップ画面。
<http://www45.atwiki.jp/sanrikuplanning/>



「歴史的町並みや建造物の基礎
調査をかねて、各地を視察してい
ます」という中野准教授。その模
様は計画史研究室ホームページ
(http://zairyo3.riko.shimane-u.ac.jp/kouzou/nakano/About_Me.html)のブログで見ることが
できます。

総合理工学部准教授
中野茂夫



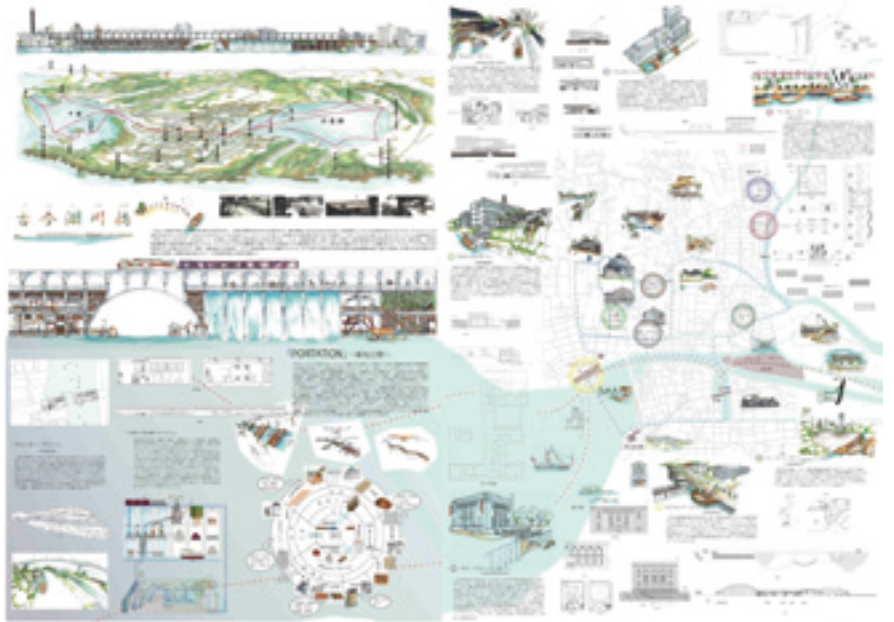
都市計画の歴史、なかでも企業城下町の都市計画や社宅街の研究などを専門の一部とする中野准教授の著書。右は『企業城下町の都市計画』、左は共著の『社宅街 企業が育んだ住宅地』。



いたのではないかと、という素朴な疑問がありました。そこで、ひとつの企業が町を作っている事例のような、行政ではなく、民間企業の手がけたまちづくり事例の調査研究に着手するようになりました」（中野准教授）。

東日本大震災復興支援の取り組み そして都市計画誕生百周年に向けて

どのような産業遺産が残されているのか現地調査（フィールドワーク）することに加え、当時の公文書などから、行政と企業がどのようなやり取りをしてきたか等の調査をおこない、都市形成のプロセスを明らかにすることが主な取り組みです。そして、この研究手法を活かし、本年



中野准教授の担当する「建築設計製図Ⅳ」受講生で取り組み、日本建築学会主催設計競技「時を編む建築」にて、タジマ奨励賞を受賞した松江市の都市設計「古今湖川橋」。

6月より東日本大震災復興に向けた基礎調査として、中野准教授の所属する「都市計画遺産研究会」による復興計画史アーカイブ化の取り組みが始まりました。

「過去に三陸地方でおきた災害時の復興資料を調査し、これからの復興に活かそうという取り組みです。やはり当時の公文

書を中心市街地の再評価が今後の課題。まちづくりグループとも連携を取っていきたい」（中野准教授）。

また、大正8年に日本近代都市計画が誕生して、そろそろ百年になるとうとする現在、その歴史を見直し、本にまとめるといふ大きな取り組みも始まったとのことです。

研究 事業紹介

4

introduction

生物資源科学部

研究・事業紹介

14

二枚貝の環境浄化機能を用いた中海の再生 将来的には水域の水産業復活に繋げる試み

専門としていた古生物学の見地から、生物が環境に影響を与えていることに興味を覚え、二枚貝を対象とした生態環境学に取り組み、生物資源科学部の山口啓子准教授。現在、島根県と共同でおこなわれている、中海の環境改善の取り組みをうかがいました。



サルボウガイ(二枚貝)がもたらす 中海の環境改善と水産業活性化

中海の淡水化事業の中止を受けて、環境改善の取り組みとして、サルボウガイ(赤貝)やアサリといった二枚貝を研究対象に、中海水域の再生に向けて取り組んでいる、山口啓子准教授。「かつて中海水域でおこなわれていた、サルボウガイ漁業の復活を試みています。二枚貝は水質を浄化する役割を持つだけでなく、漁獲量を確保することで、水域の水産業活性化に重要な役割を果たします。このサルボウガイ漁業復活についての取

「水生生物、特に環境悪化の影響を受けやすい貝類の生態と環境との関わりに着目して水域の環境保全・修復を目指しています。環境や生物の生態的特性を十分に理解し、適切な対策や管理を行うことが重要だと思います」と語る山口准教授。



生物資源科学部准教授
山口啓子



山口准教授の研究手法は学生の教育にも活かされています。写真は持ち帰った湖底の底質サンプルを化学分析する様子。



り組みは県と共同でおこなっています」（山口准教授）。

中海に配置された調査ポイントからサルボウガイ分布のメカニズムを調査

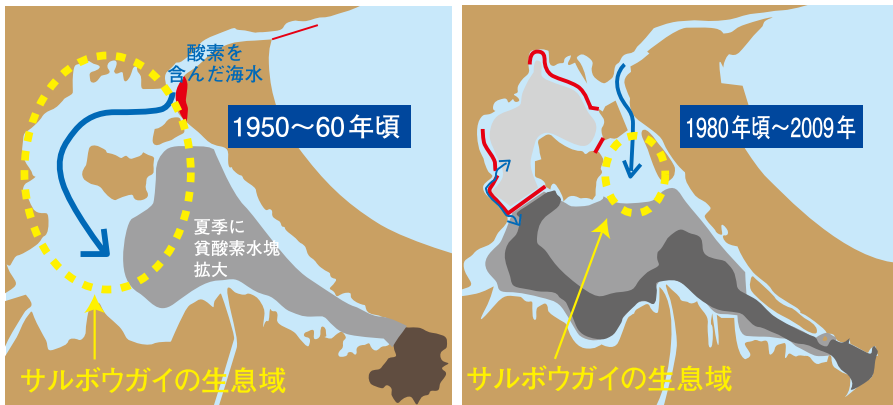
中海では、昭和50年を境にサルボウガイの漁獲がゼロになり、アサリ等、その他の二枚貝の漁獲量も年々減少。現在では漁業として成立していません。

サルボウガイ、アサリといった二枚貝は、水を漉しながらエサを食べる「ろ過食」をおこなうため、多くなれば水産業はもとより、水質が改善されるという二重の効果があるそうです。

「そのためには、現在生息しているサルボウガイは母貝として保護し、その親が産卵した種貝

を効率的に採苗し育てて漁獲するといった『育てる漁業』を進めていく必要があります。」（山口准教授）。

実際の取り組みは、中海水域に網の目状に配置した、176の調査ポイントでの水質・底質調査とサンプル採取等のフィー



山陰地方では「赤貝」と呼称され、広く食用として親しまれてきた「サルボウガイ」の主な生息域の変化。このように人間の影響で激減した貝の生息場所や環境を復元することが山口准教授の研究です。

ルドワークを中心に、採取した二枚貝の幼生（プラシト）等から分布のメカニズムを解明していきます。

生物が戻ってきた中海本庄水域 今後はサルボウガイ定着への試みを

「中海水域のなかでも問題となるのが、淡水化事業によって封鎖されていた本庄水域で、平成18年の時点では湖底に大型生物のほとんどいない水域でした。これが淡水化中止に伴い、堤防が開削されたことにより、その周辺が改善され、付近に生物が戻ってきました」（山口准教授）。

アサリの棲息が確認され、サルボウガイはまだ戻ってきていませんが、その幼生となるプラシトンを定着させる環境づくりを始めたという山口准教授。

また、サルボウガイが棲息するため、水質や底質をどの程度浄化させればいいのか、そのためにはどうすればいいのか、といった試みが今後も続いています。

医学部

研究
事業
紹介

5

introduction

医学部附属病院が中四国地区初の承認を受けた
先進医療「人工括約筋を用いた尿失禁手術」

前立腺癌の外科治療で起こりうる「術後尿失禁」。医学部附属病院では、その有効治療となる「人工括約筋（AMS800）を用いた尿失禁手術」が、先進医療として中四国で初めて認定されました。米国で治療法を修得された、泌尿器科の安本博晃講師に詳しいお話をうかがってきました。

前立腺癌の早期治療で起こりうる
術後の尿失禁に対する唯一の治療法

高齢化、食生活の欧米化等の要因に加えて、診断法の進歩もあり、「早期前立腺癌」と診断される患者が増加傾向にあります。この早期症例に対する標準的な外科的治療が、前立腺全摘出手術ですが、この治療による「術後尿失禁」が大きな課題でした。医療技術の進んだ現在では、術後1年以内に9割の患者の排尿機能が回復しますが、紙おむつを必要とする重度の尿失禁に苦しむ患者が、1〜3%程度生じるとされています。

「比較的安全で、患者さんの満足度も高い治療法なので、今後広く普及させたい」と意欲を語る安本講師。

附属病院泌尿器科講師
安本博晃



2009年米国カリフォルニア州の研修施設にて行われたAMS800人工尿道括約筋手術研修会の様子(中央 安本医師)



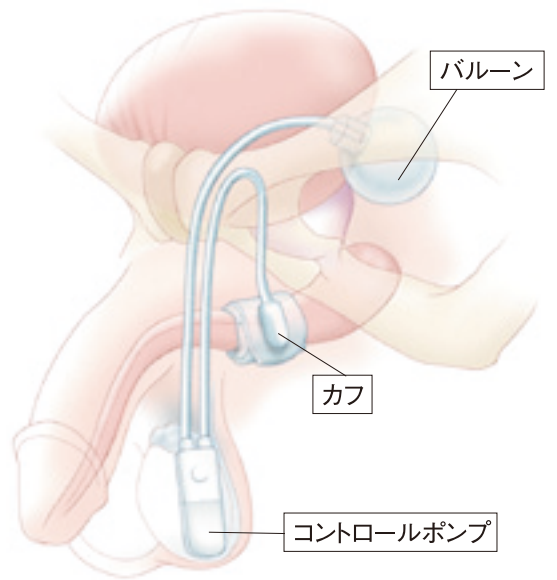
人工括約筋（AMS800）の写真。「非常にシンプルな構造ゆえに信頼性も高く、術後 90%の患者さんが治療に満足しているというデータもあります」（安本講師）。



この問題を解決する治療法として、米国では一般的な「人工括約筋を用いた尿失禁手術」があり、平成13年には、島根大学医学部でも、井川幹夫教授（泌尿器科・同病院副院長）がいち早く手がけ、その有用性を報告してきた実績があります。しかし、当時は患者の医療負担が高額であり、保険診療として認められるほどには治療実績が伸びなかったことから、この治療が有効であるにもかかわらず、普及にいたりませんでした。そして、このたび医学部附属病院が先進医療施設に承認されたことで、同治療に対する期待も高まってきました。

**先進医療施設承認の追い風で実績を上げ
症状に苦しむ人々が治療しやすい環境を**

医学部泌尿器科の安本博晃講師は、こうした状況の平成21年、井川教授のアドバイスのもと、米国専門機関での研修で「人工括約筋（AMS800）を用いた尿失禁手術」の技術を修得されました。



人工括約筋は尿道の周りにシリコン製のカフを巻きつけ、その中に液体を充填することで失禁を保ちます。排尿の際にカフ内の液体を抜くためのコントロールポンプは陰嚢内に、液体を貯蔵するバルーンは下腹部内に埋め込みます。

「この治療は歴史も長く、今では機器も確立されており、信頼性も申し分ないので、今後は症例を多く手がけて、さらに実績を積み上げ、保険治療になるよう尽力していきたい。現在、中四国でこの治療が受けられるのは

当病院のみですが、制度の問題が解決すれば、いずれはこの病院でも受けられる治療になっていくはず」（安本講師）。

本年度は先進医療に対する費用助成制度の適応で、人工括約筋（AMS800）費用分が助成されるとのこと。

安本講師は、「費用面で悩む患者さんの大きな助けになるだけでなく、この機会に治療の実績を積むことで、それだけ保険治療への道も近くなる」と締め括ってくれました。

人と人の絆の大切さを教えられた災害復興支援活動 繋がった絆をさらに大きな支援の輪に広げていきたい

島大生の活動紹介

つながる絆プロジェクト

東日本大震災の被災地である宮城県気仙沼市で

ボランティア活動「つながる絆プロジェクト」をおこなった、
法文学部3年生 鳥屋尾 俊輔（とやおしゅんすけ）さんに、
活動に至るきっかけから活動の様子などを聞きました。

**体験談に触発されて始まった
災害復興支援が実現に至るまで**

鳥屋尾さんが震災復興ボランティアに向けて行動を起こしたのは、被災地で実際に復興支援活動をおこなってきた他大学生をゲストに招いた授業のなかで、その体験談に触れたのがきっかけでした。

「話のリアルな内容に衝撃を受け、いてもたってもいられなくなりました。授業後、その気持ちを打ち明けたら「それなら被災地に行ってみるのが一番いい」とアドバイスされたんです。最初は一人で行くことも考えましたが、それよりも仲間を増やし、もっと大

きな力にするべく、活動主旨を企画書にまとめ、仲間の募集とともに、旅費や宿泊費をまかなうための寄付金集めを始めたんです」。

作成した企画書を携え、大学関係者や学生たちに活動への支援をアピールしましたが、個人活



津波によって内陸に流された大型船。報道などでも頻繁に取り上げられた気仙沼市の津波被害の象徴。



民家の土蔵の土をはがしている活動の様子。水が染みだした土をそのままにしておくと柱や梁なども腐食するため土をはがし、新たな土壁を塗るための下準備。



動ではなかなか信用を得られませんでした。そんなおこなわれる学語る会」(月一回おこなわれる学生たちとの懇談会)を通じて山本学長にボランティア活動について話したところ、応援を快諾。一気に実現への道が開けていきました。

「大学からは、被災地で使用する作業道具等の物資を援助していただきました。また、大学に認めてもらったおかげで、寄付金とメンバー集めも進み、いよいよ8月25日、僕を含めた10名の学生が宮城県気仙沼に向けて出発しました」。



宿泊先となった「ホテル望洋」の玄関にてボランティアスタッフと現地の方との1コマ。現地の人々との交流を通じて、様々な経験を深めました。

住民の将来を支える活動 人々と深く触れあった1週間

活動の場所を気仙沼にしたのは、「学生ボランティア受け入れ体制の整ったホテルがあったことが大きい」と鳥屋尾さん。宿泊先の

ホテルから約4キロ離れた自治体のボランティアセンターに貸出自転車や徒歩で向かい、そこから公用車で作業現場に向かう毎日。実際の作業は、瓦礫撤去などの災害復興よりも、災害に

よって荒れ果てた田畑を甦らせるなど、被災した住民たちひとりひとりの自立支援が中心でした。

「災害から5ヶ月経過していたこともあり、畑の整備や拾得物の清掃など、具体的なニーズが多く、また自立支援は、被災者の今後を支える目的があるので、気仙沼の人々に寄り添った活動が出来たと思います。特に今回のメンバーは女性が多かったことで、清掃作業などの繊細な作業を任されることも多く、それも皆さんに喜んでいただけました」。

活動で築き上げた絆で 今後の復興活動を支援

こうして、被災した人々とともに汗水を流した1週間のボラ



現地の活動内容を語る鳥屋尾さん。今後、自分自身が被災地での活動を語ることで、少しでも多くの人々に関心をもってもらい、支援のきっかけ作りをしていきたいとのこと。

ンティア活動を終えて、「人と人の繋がりを考えた1週間でした。実際の作業はわずかな期間でしたが、現地とのパイプも出来たので、今後も報道ではわからないリアルな情報を伝えていけると思います。現地の人々は「まず東北に来て、自分の目で見て欲しい」と言われています。こうした生の声を「何をしたらわからないけど、何かやりたい」と考えている、以前の僕のような人々に伝えていきたい」と鳥屋尾さん。

鳥屋尾さんたちメンバーの詳細しい体験談は、大学祭において「震災復興支援ボランティア報告会」にて披露される予定です。

軟式野球部

勉学との両立を考慮して
社会人リーグで独自の活動
甲子園経験者も入部し、
来年は上位リーグを目指す

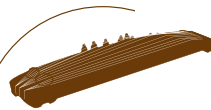
7年前、同好会からスタートした島根大学軟式野球部は、松江市社会人軟式野球連盟に加入し、独自の活動をしています。その理由を「学生リーグに加盟すると定期的な遠征試合もあって、費用負担が学生には大きく、現在のよ
うな活動方針になった」と語るのは、岡田朋監督(3年生)。高校時代にソフトボールの選手だった岡田監督もプレイヤーとして活躍しています

春の高松宮杯予選を皮切りに、国体予選、中国5県など、出場する大会も多く、本年度の社会人西日本大会ではベスト4に入るなど、甲子園経験者の入部した昨年からは好成績が続いています。

来年度、軟式一般Aトーナメント入りが現在の大きな目標です。



取材日は夏休みでしたが、早朝からの練習で、熱心な部員たちの大きな掛け声がグラウンドに響いていました。



邦楽部

箏(こと)、三弦、尺八を使った和のアンサンブル
今年で56回目をむかえる

本年12月に56回目の定期演奏会(年1回)を迎える、たいへん長い歴史のある邦楽部です。使用する和楽器は、箏(こと)、三弦、尺八で、入部したときに各部員がそれぞれ希望の楽器を選ぶのが、このクラブの慣例になっています。

部員は38名。女子の多いクラブでしたが、最近では男子部員も増えてきたそうです。

「高校から続けてきたメンバーもおこなわれる定期演奏会のおこなわれる定期演奏会のおこなわれる定期演奏会が年3回、8月には中四国の大学が集まる合同合宿と精力的な活動をおこなっています。

バーも多いですが、邦楽の世界に興味を持って入ってくる学生も多い。邦楽というと古典ばかりのようなイメージを持たれるが、現代曲もたくさんあり、幅広い演奏が楽しめる」と言うのは、部長の井上真綺さん(3年生)。

週2回のレッスンでは、長年邦楽部を指導してきた箏と三弦、尺八の各先生を学外から招いておこないます。県民会館で



箏(こと)、三弦、尺八それぞれのパートが集まった合同練習。軽やかな和楽器の音色に心が癒されるひと時でした。

島根大学オリジナル芋焼酎

神在の里 好評発売中

生物資源科学部神西砂丘農場で生産された
サツマイモ「ベニアズマ」を原材料とした「芋焼酎」
●神在(かみあり)の里(720ml) **2本入りセット**…**3150円**(税込)
※島根大学生協でしか販売しておりません。

島根大学生活協同組合
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 Tel.0852-32-6240
<http://omis.eiseikyuu.jp/shimane>

もっと身近にメリット!! ●毎週月曜更新!

鳥取・島根のおしごとサーバー

Webメルिट

求人情報を
携帯電話から
簡単検索!!

<http://job.merit-inc.net/m>

パソコンからは…クリック!
求人メルिट 検索
<http://job.merit-inc.net>

メルキー
就職説明会
面接会等の
情報も満載

お問い合わせ 株式会社メルिट 求人事業部 松江市古志原 5-2-43 TEL.0852-23-1749



医学部 茶道部

将来役立つ礼儀作法と
社会性が身につく茶道
晴れの舞台は
大学祭の「秋の茶会」

医学部茶道部は旧島根医
大創設時に誕生したサークル
のひとつです。

活動は毎週火曜日に学外か
ら2人の先生を招いておこな
われます。現在、部員は11名。

試験や研修等で、全員が顔を
揃えることはまれですが、ひと
りひとりが忙しい合間をぬって
真剣に取り組んでいるのも、医
学部茶道部の特徴です。

「茶道が楽しいことはもちろ
ん、医学生は、人と接する仕事
をしていきます。そこで、将来

のためにも、礼儀を重んじた茶
道の作法を通じて、社会性を
身につける目的もあるんです」
と部長の富永真由さん(3年
生)は言います。

取材時は10月の学園祭で主
催する「秋の茶会」に向けた点
前(春秋棚)の稽古の真っ最中
でしたが、それ以外は福祉施
設でのボランティア茶会や、松
江・出雲地区の各種茶会で
日頃の稽古の成果を披露して
います。

今後は、男子部員も増やし、
さらに活発なクラブにして
いきたいそうです。



大学に入ってから茶道を始めた部員も多く、お互いに作法を教えあいながら、和やかな雰囲気での稽古を行っています。



医学部 空手道部

近年は女子が連続して
好成績をおさめ注目度もアップ
勢いに乗ってさらに
活気のあるクラブ活動を

大学以前から空手を続けて
いた学生が、公式大会に出場す
るために発足した「医学部空手
道部」も、今では20年以上の歴
史を誇ります。

現在は、空手経験者の山本
雅人部長(3年生)を筆頭に、
15名の部員が週2回の練習に
汗を流しています。大学から始
めた部員が大半ですが、外部か
らの指導者を招いた練習は真
剣そのもの。

日頃の成果は、主に8月の
西日本医科学学生体育大会、3

月の中四国大会という2つの
大会で発揮されます。とくに、
本年8月に開催された西日本
医科学学生体育大会では、女子
個人組手、女子個人形、女子
団体組手で優勝と、素晴らしい
成績をおさめました。

「部員数も増えてきています
が、もっと人数を増やしてさら
に活気のある空手道部にして
いきたい。また、女子に負けない
よう、男子も団体組手などで
成果を出していきたい」(山
本部長)。

男女共々、これからの成
績に期待しています。



活気のある練習を通じて、心身ともに鍛錬に励む練習風景。一つ一つの技を丹念に繰り返す姿が印象的でした。

資格のコトなら! LEC松江北陵校(提携校)

公務員講座 本気で目指すなら1年生から始めよう!
理系のキミは技術公務員だ!

司法書士 15ヵ月で合格を狙え!! おすすめは、
「2013年合格目標:新15ヵ月レギュラーコース(秋生)」!

日商簿記、宅建、弁理士、税理士など、他にもいろいろな資格講座があります。

合格の
LEC
松江北陵校

提携校: アйм教育事業部
松江北陵校52-2ゆめつくす北校1階(アイム教育事業部内)
0852-32-3909

アイム教育事業部は、株式会社東京リーガルマインド(LEC)の提携校として、各種提携校通学(Web-DVD)講座の受付・実施、通信講座の受付を行っています。
この広告物の内容は発行日現在のもので事柄の予告なしに変更する場合があります。予めご了承下さい。

荒れた森林を元気にしよう! 私たちは森林保全の輪を広げる活動を展開しています。



山陰合同銀行

体操の技術を活かして世界を舞台に縄を跳ぶ次に狙うのは、世界大会でのメダル獲得！



三村大輔さん

(大学院教育学研究科一年)



活躍する 島大生

Activity

今年7月に韓国で開催された、第6回アジアロープスキッピング選手権大会「男子の部」フリースタイル競技部門で優勝を果たした三村大輔さん。ロープスキッピングとは縄跳びのこと、3種類の計測競技にフリースタイルを加えた4種目からなるスポーツです。なかでも、あらゆる縄跳び

の個人技を競うフリースタイルはそのパフォーマンス性の高さから、競技の枠を越えてヨーロッパを中心に人気を集めています。三村さんが競技を始めたのは筑波大学の大学院生の時で、長年体操を続けてきた三村さんを見込んだ友人に誘われたのがきっかけでした。

初出場した第3回アジア大会で30秒スピード3位、その翌年の世界大会でフリースタイル5位入賞と着実に実力を発揮。そして、昨年イギリスで開催された世界大会ではひとつの目標だった上位入賞(総合8位)を果たし、今回のアジア大会種目別優勝へと繋がりました。

「今までは自分らしさが追求できるフリースタイルに力を入れてきましたが、昨年の世界大会入賞から、総合でも戦える自信ができました。来年の世界大会では、ぜひ総合でメダルを獲得したい」(三村さん)。

これからの活躍にも大いに期待がかかります。



Profile

昭和56年生まれ、島根県松江市出身。島根大学教育学部を経て、大学院生として編入した筑波大学でロープスキッピングと出会う。高校(新体操)大学(器械体操)で培った技術を活かしたフリースタイル競技で頭角をあらわし、現在も国内トップ選手として活躍中。



島根大学は島根スサノオマジックを応援しています!

いよいよ神話第3章始まる…

昨年10月、島根県初のプロスポーツチーム「島根スサノオマジック」がbjリーグの舞台に立ち、最後は福岡に敗れましたが、見事に新規参入チームでプレーオフに進出いたしました。

そのスサノオマジックの神話第3章が10月から始まります。

今シーズンのスサノオマジックは昨シーズン・キャプテンとしてチームの中心として活躍した、現役日本代表の石崎巧選手が欧州挑戦のため、ドイツに旅立ちました。

しかしスサノオマジックは石崎選手にも匹敵するビッグネームの獲得に成功。

彼の名は「マイケル・バーカー」。昨シーズン、プレーオフも含めて6戦全敗と苦杯をなめ続けた、ライジング福岡の絶対的エースであり、2008-2009シーズンから昨シーズンまで3シーズン連続・bjリーグの得点王かつ4年連続スティール王という輝かしい実績を持つ攻守の大黒柱の加入が決まりました。

また他の外国人選手としては、昨シーズンのbjリーグのブロック王のジェラル・デービス選手に、スサノオマジックのスコアリングリーダー、レジー・ゴルソン選手の残留も決まり、コートに3人まで外国人選手がたてるbjリーグでは、この外国人選手トリオに早くも他チームからは脅威の声が上がっています。

今年のスサノオマジックはこの外国人トリオの活躍に注目です。



©Rizing-Fukuoka/bj-league

島根スサノオマジック 2011-2012 シーズン ホームゲームスケジュール

- 10月29日(土) 30日(日) 島根 × 大阪エヴェッサ (松江市総合体育館)
- 11月12日(土) 13日(日) 島根 × 新潟アルビレックスBB (米子産業体育館)
- 11月19日(土) 20日(日) 島根 × ライジング福岡 (松江市総合体育館)
- 12月10日(土) 11日(日) 島根 × 高松ファイブアローズ (松江市総合体育館)

2012年1月からの試合は詳しくは島根スサノオマジック公式HPでチェック <http://www.susanoo-m.com/>

島根大学支援基金寄附者一覧

ご協力ありがとうございました。(平成23年6月~8月にご寄附いただいた皆様)

■個人からのご寄附(五十音順・敬称略) 竹内 準治 吉仲 崇

※ご寄附をいただいた皆様の中で、「HP等への掲載を希望しない」とされた方は、掲載しておりません。

投稿のお願い

「広報しまだい」は、島根大学と地域の方々との相互理解を大きな目的としています。島根大学から地域に情報を発信してほしいこと、地域の方々からの島根大学に関する話題、島根大学に対する要望、その他ご意見、ご質問などをお気軽にお寄せください。ご投稿お待ちしております。

投稿先

〒690-8504 松江市西川津町 1060 島根大学 広報室
FAX: 0852-32-6019 E-mail: jsy-bunsyo@jn.shimane-u.ac.jp
ホームページ: <http://www.shimane-u.ac.jp>



Present

ご意見を頂いた皆様の中から抽選で10名様に
島大農場で収穫されたいちごを使った
オリジナルジャムをプレゼントします。

※当選者のお知らせは発送をもってかえさせていただきます。
※応募〆切/平成23年12月15日必着



企業のみなさまへ

「広報しまだい」に
広告を掲載してみませんか!

ご希望される場合は、
島根大学 広報室
(電話 0852-32-6603)まで
お尋ねください。
みなさまのご応募
お待ちしております。



編集後記

この夏さえ乗り切れば、と節電に励んだ初夏、そして来る冬も…と電力不足の長期化が懸念される今、また、その間に政権は交替し、相場は歴史的な円高となるなど、世の中は目まぐるしく変わりましたが、自然の営みはいつもどおり、暑い夏は終わり、秋風を感じる過ごし易い季節がやってきました。皆さま如何お過ごしでしょうか。

今回の学長対談のお相手は、スーパー英語教師、田尻教授でした。学生の学ぶ力を引き出す手法は、中学生のみならず大学生にも適用できるとのお話でしたが、「学ぶ力」は社会人など学生以外の層にも必要な資質であることを考えると、人間力の活性化といった、普遍的で、教育の真髄をつ

お話でもあったと感じました。俗に、人生死ぬまで勉強、などと言われますが、日々の暮らしの中で向上心を失わずにいること、学び続けること、それが国力の向上、ひいては、より良い世界の創造に繋がるのではないのでしょうか。『教育』の影響の大きさ、そして高等教育機関である大学に課せられた責任の大きさを改めて感じました。

さて、学生の長い夏休みが終わり、10月から後期授業が始まりました。そして、10/7-10(松江キャンパス)、10/15-16(出雲キャンパス)はお楽しみのお祭りです。学生がキャンパスに戻り、活気を増した本学での大学祭への、皆さまのお越しを関係者一同、心よりお待ちしております!



島根大学

しまねに
アクセス!!

Shimane University 広島オフィス 10月下旬開設

Hiroshima office

平成23年10月、島根大学は新たな情報発信・交流の拠点として
利便性の高い広島市街に「広島オフィス」を開設。
利用者のニーズに対応した相談体制を準備しています。ぜひご利用ください。

▶ 島根大学 広島オフィス ご利用案内



入学・入試に関する情報提供・ご相談

- 大学案内・募集要項などの関連資料を閲覧、入手できます。
- 常駐スタッフが、島根大学の学部や大学院で学べる内容、入試など幅広いご質問、ご相談に応じます。
- テレビ会議のシステムを利用して、入試センターの担当者と直接相談できます。
- 高校への訪問説明、入試説明会などを行います。

進路・就職に関する情報提供・ご相談

(在学生及び卒業生に次のサービスを提供致します)

- 島根大学へ寄せられた求人票や企業情報を閲覧できます。
- 常駐スタッフが、山陽地区での就職、また山陽地区出身者の島根県内での就職など、幅広いご相談に応じます。
- ネットワークを活用した就職先開拓など、トータルな就職支援を行います。
- 医学部附属病院医療従事者(看護師等)に関する就職支援を行います。(一般の方も対象)

研究・事業の情報提供・ご相談

- 島根大学の教育や研究内容を紹介します。
- 山陽地区における産学連携の拠点となり、幅広い支援を行います。
- 島根大学の教員による、高校生・一般の方々を対象とした講演会、セミナー等も開催します。

島根大学 広島オフィス概要

所在地 / 広島県広島市中区立町1-23

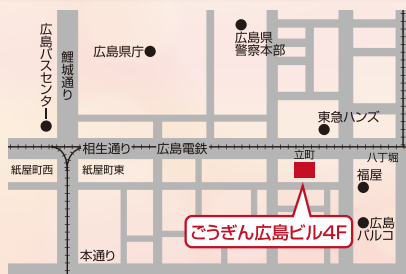
ごうぎん広島ビル4F

開室日 / 火曜日～土曜日(日・月・祝日は閉室)

開室時間 / 10:30～17:30

アクセス /

- ・広島電鉄「立町駅」より徒歩2分
- ・広島バス「八丁堀」より徒歩1分
- ・広島バスセンターより徒歩5分



お問い合わせ

島根大学 教育・学生支援部
教育・入試企画課

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

TEL 0852-32-6073

FAX 0852-32-9726

H P <http://www.shimane-u.ac.jp/>

E-mail nyu-nyushi@jn.shimane-u.ac.jp

